



あくまでも一例ですが、何らかの障害のために言葉で意思を伝えられなくなった方に対し、視線入力装置といって目で画面を見つめる動作で文字入力やパソコンの操作を行うことのできる機器があるのですが、その紹介や練習を行うためのデモ機もOT部門で所有しています。その他、環境調整の専門家として車いす作成などのアドバイスやポジショニングのためのクッション作成の支援なども行います。

そして、当院のST部門ならではの特色としては、耳鼻科での活動が挙げられます。耳鼻科医師の指示の下で、各種検査や指導などを提供しており、特に補聴器や人工内耳の導入に関しては、初期の検査から使用してからの調整まで幅広く対応しております。「聞こえ」に関するお

悩みがある方は是非、当院耳鼻科にご相談ください。必要であればSTが丁寧に対応させていただきます。



如何でしたでしょうか。ここでのご紹介が三重病院のリハビリテーション科のことを知っていただく一助になれば幸いです。なお、PT・OT・STの仕事の範囲は密接に重なり合い、かつ互いを補完し合う関係にあります。当院のように個別性の高い医療サービスを提供している施設での活動の場合は、その重なり合う部分はさらに大きくなります。冒頭でも触れましたが、リハビリテーション科ではチーム一丸となって、より良い治療やサービスを追求して参りますので、今後ともよろしく願いいたします。

(理学療法士長 楠川 敏章)



ようこそ!

三重病院へ



今年も三重病院に20名(事務職5名、理学療法士2名、医療社会事業専門員1名、看護師12名)の新規採用者を迎えました。

オリエンテーションを終え、現在配属先で先輩方のサポートを受けながら一生懸命働いています。三重病院のあたらしい仲間たちをどうぞよろしくお願い致します。



接遇マナー研修



丁寧語など、社会人基礎力を構築します

看護技術研修



春先は天候にめぐまれず、ゆっくりお花見できなかった今年の春ですが、通所支援では4月中旬に園芸活動の一環として「ひまわりの種まき」を行いました。お天気の良い日には屋外で、風の強い日にはベッドサイドで、利用者さんと一緒に種を育苗ポットに埋めて土をかぶせる作業を行いました。しっかり吸水させ

通所支援事業のひとコマ



た種は、すでに白い根が見えているものもあったので発芽は大丈夫そうですが…今年はどれくらい咲いてくれるか、今から楽しみです。

(療育指導室長 村松 順子)

